



毎日、発明する会社



2019年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年12月14日

上場会社名 フリービット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3843 URL https://freebit.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 伸明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループ経営管理本部長 (氏名) 和田 育子 TEL 03-5459-0522
 四半期報告書提出予定日 2018年12月17日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第2四半期の連結業績(2018年5月1日~2018年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第2四半期	21,497	10.8	1,013	139.6	734	-	9	-
2018年4月期第2四半期	19,407	3.8	422	△62.2	△3	-	△806	-

(注) 包括利益 2019年4月期第2四半期 176百万円(-%) 2018年4月期第2四半期 △710百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第2四半期	0.42	0.41
2018年4月期第2四半期	△36.34	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第2四半期	35,377	10,718	24.7
2018年4月期	30,796	10,675	28.8

(参考) 自己資本 2019年4月期第2四半期 8,726百万円 2018年4月期 8,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	-	0.00	-	7.00	7.00
2019年4月期	-	0.00	-	-	-
2019年4月期(予想)	-	-	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年4月期の連結業績予想(2018年5月1日~2019年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	24.2	2,750	48.5	2,400	68.3	250	-	11.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

詳細は、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年4月期2Q	23,414,000株	2018年4月期	23,414,000株
② 期末自己株式数	2019年4月期2Q	1,218,800株	2018年4月期	1,218,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年4月期2Q	22,195,200株	2018年4月期2Q	22,195,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算の概要説明の入手若しくは閲覧の方法）

- ・ 四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。
- ・ 四半期決算の概要説明は、その記録動画を当社ウェブサイトにも速やかに掲載する予定です。

（日付の表示方法の変更）

「2019年4月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

「経営成績に関する説明」において使用する名称の正式名称及びその説明は、下記のとおりであります。

使用名称	正式名称	説明
DTI	株式会社ドリーム・トレイン・インターネット	当社連結子会社
トーンモバイル	トーンモバイル株式会社	当社持分法適用関連会社
フルスピード	株式会社フルスピード	当社連結子会社
フォーイット	株式会社フォーイット	当社連結子会社
フリービットEPARKヘルスケア	株式会社フリービットEPARKヘルスケア	当社連結子会社
ギガプライズ	株式会社ギガプライズ	当社連結子会社
MVNE	Mobile Virtual Network Enabler	MVNOの支援事業者
MVNO	Mobile Virtual Network Operator	仮想移動体通信事業者
アドテクノロジー	Ad Technology	「テクノロジーを駆使した広告」の総称で主にインターネット広告における配信技術や広告流通の技術のこと
DSP	Demand Side Platform	広告主の広告効果最適化を目指すプラットフォーム
ソーシャルメディア	Social Media	個人による情報発信や個人同士のコミュニケーションを主とした人の結びつきを利用した情報流通メディアのこと
アフィリエイト	Affiliate Marketing	Webページ等の広告を経由して、広告主のサイトで会員登録や商品購入をした場合にリンク元の媒体運営者へ報酬が支払われる仕組み
Health Tech	Health Technology	“健康×IT”によりヘルスケア領域に変革を起こし、次世代の健康管理メソッドを創出していくもの
IoT	Internet of Things	モノに通信機能を持たせてモノ同士が相互通信することにより、ヒトが介在することなく自動認識や自動制御などが行える仕組み
不動産Tech	Real Estate Technology	“不動産×IT”により不動産業界に新しいサービスの潮流を起こし、ITを用いて不動産関連サービスを進化させていくもの
AIアシスタント	Virtual AssistantやIntelligent Personal Assistantとも称される	ユーザーとの対話により、ユーザーの求める課題や仕事を実行するサービス
ICT	Information and Communication Technology	情報通信技術
SNS	Social Networking Service	インターネットを利用して社会的ネットワークを構築可能にするサービスで、ソーシャルメディアの1つ
アフィリエイトター	—	アフィリエイト広告で収入を得ている方々の総称

当社グループは、中期事業方針『SiLK VISION 2020』において、2020年4月期に売上高500億円、営業利益50億円の達成を目標に掲げており、その前年となる当連結会計年度は、売上高480億円、営業利益27.5億円、経常利益24億円、親会社株主に帰属する当期純利益2.5億円の達成に向け、事業を推進しています。そして、当第2四半期連結累計期間は、売上高、営業利益、経常損益、親会社株主に帰属する四半期純損益の何れも前第2四半期連結累計期間を上回る結果となりました。

当社グループが継続成長事業の1つと位置付けているモバイル事業においては、当社がMVNEとして提供するMVNO支援パッケージサービス「freebit MVNO Pack」が堅調に推移しました。また、エンドユーザー向けMVNO事業を行うDTIでは、割引特典施策やサービスラインアップの見直しを講じることで利益率の向上を図りました。同じくMVNOとしてエンドユーザーに格安スマートフォンサービスを提供するトーンモバイルにおいても拡販キャンペーンの実行等による収益向上に努めました。

もう1つの継続成長事業と位置付けているアドテクノロジー事業では、フルスピードがDSP広告サービスの拡販や動画広告市場向けのサービス展開に注力し、ソーシャルメディアマーケティングも堅調に伸長しました。また、フォーイトにおいては、アフィリエイトサービスの利便性の向上に加え、今後の事業規模拡大に向けた投資や体制強化等を行いました。

新分野である生活領域の各事業については、今後の当社グループ発展の一翼を担うものとするべく、継続的にその育成に注力しており、“Health Tech”分野においてはフリービットEPARKヘルスケアが、また、“IoT”分野においては当社が、そして“不動産Tech”分野においてはギガプライズがそれぞれ中心となり、当社グループの事業リソースを最大限に活かす形で推し進めています。当社グループでは、現段階において事業規模の拡大を最優先事項と位置付けており、その過程において蓄積される様々なデータや事業ノウハウを競合他社との差別化に活かしていくことが市場における絶対的優位性の確立に繋がると捉えています。そのためには、性急な収益化よりも顧客基盤獲得のための投資を継続していくことが肝要であるとの認識のもと、引き続き、事業活動に臨みました。

以上の結果、第1四半期連結会計期間にトーンモバイルへの追加出資に伴う持分法による投資損失193,088千円を計上したものの、売上高は21,497,761千円(前年同四半期比10.8%増)、営業利益は1,013,145千円(前年同四半期比139.6%増)、経常利益は734,691千円(前年同四半期は3,752千円の損失)、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は9,224千円(前年同四半期は806,650千円の損失)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ブロードバンド事業

スマートフォンやタブレット、AIアシスタント機器などの多様なICT端末の普及により、宅内Wi-Fi環境を通じたリッチコンテンツやSNSの利用増加等により固定回線網サービスの原価率は引き続き高いものの、集合住宅向けインターネットサービスが順調に推移したことなどにより、売上高は増加しました。また、今後の拡大に向けた“不動産Tech”分野への投資を継続しました。

以上の結果、売上高は7,185,576千円(前年同四半期比27.2%増)、セグメント利益は650,353千円(前年同四半期比29.1%減)となりました。

② モバイル事業

MVNO支援パッケージサービスの堅調な推移に加え、エンドユーザー向けMVNOサービスのラインアップ見直し等を実行しました。

以上の結果、通信キャリアからの回線卸売り価格の値下げに連動したことで売上高は4,109,697千円(前年同四半期比7.0%減)となりましたが、利益構造の改善により、セグメント利益は76,071千円(前年同四半期は312,489千円のセグメント損失)となりました。

③ アドテクノロジー事業

アドテクノロジー関連サービスであるDSP広告や動画広告市場向けの商材を中心としたインターネット広告サービスの提供に注力するとともに、その他のインターネットマーケティング関連サービスの拡販も推進しました。また、アフィリエイトサービスにおいては、アフィリエイトの利用満足度が極めて高いアフィリエイトプラットフォームの強みを活かした事業を展開するとともに、今後の更なる事業伸長のための投資や体制強化等を実行しました。

以上の結果、売上高は8,112,356千円(前年同四半期比1.7%増)、セグメント利益は575,295千円(前年同四半期比21.7%減)となりました。

④ クラウド事業

これまでのクラウドサービスに加え、高セキュリティの当社グループのクラウド基盤を活かしたIoT関連サービスの拡販に注力する一方で、システムの整備・改善とレガシーサービスの淘汰を図りました。

以上の結果、売上高は837,126千円（前年同四半期比7.4%減）、セグメント損失は29,001千円（前年同四半期は6,180千円のセグメント利益）となりました。

⑤ ヘルステック事業

お薬手帳アプリ利用者や調剤薬局向けソリューションサービス利用事業者の獲得等を企図した投資を継続した結果、事業規模が大きく拡大し、売上高は1,401,471千円（前年同四半期比164.6%増）となりました。また、利益構造も大幅に改善し、セグメント損失は70,445千円（前年同四半期は490,518千円のセグメント損失）となりました。

セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失（△）
ブロードバンド事業	7,185,576	650,353
モバイル事業	4,109,697	76,071
アドテクノロジー事業	8,112,356	575,295
クラウド事業	837,126	△29,001
ヘルステック事業	1,401,471	△70,445
その他	179,521	37,949
調整額	△327,987	△227,077
合計	21,497,761	1,013,145

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は35,377,485千円となり、前連結会計年度末と比べて4,580,923千円増加しました。これは主として、現金及び預金が346,584千円、受取手形及び売掛金が1,379,343千円、商品及び製品が503,612千円、のれんが847,616千円、ソフトウェアが541,586千円及びリース資産（無形）が541,267千円増加したことによるものです。

負債合計は24,658,610千円となり、前連結会計年度末と比べて4,537,156千円増加しました。これは主として、支払手形及び買掛金が363,099千円、1年内返済予定の長期借入金が428,717千円、長期借入金が2,531,421千円及びリース債務（固定）が748,984千円増加したことによるものです。

純資産合計は、利益剰余金は減少したものの非支配株主持分が増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて43,767千円増加の10,718,874千円となり、この結果、自己資本比率は24.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月期の通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期の業績が概ね想定通り推移しているため、2018年9月7日に公表しました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,656,143	14,002,728
受取手形及び売掛金	5,088,367	6,467,710
商品及び製品	286,523	790,136
仕掛品	119,415	194,683
原材料及び貯蔵品	7,437	34,856
その他	3,055,128	2,750,243
貸倒引当金	△199,721	△186,126
流動資産合計	22,013,295	24,054,231
固定資産		
有形固定資産	2,122,573	2,451,490
無形固定資産		
のれん	2,142,535	2,990,152
ソフトウェア	1,494,424	2,036,011
リース資産	377,573	918,841
その他	254,961	232,007
無形固定資産合計	4,269,495	6,177,012
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179,359	1,305,558
差入保証金	539,930	672,052
その他	961,586	992,748
貸倒引当金	△289,678	△275,607
投資その他の資産合計	2,391,197	2,694,751
固定資産合計	8,783,266	11,323,253
資産合計	30,796,561	35,377,485
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,085	450,185
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,726,551	2,155,268
未払金	5,499,035	5,342,931
未払法人税等	580,023	586,033
引当金	319,384	432,349
その他	1,839,972	2,210,814
流動負債合計	10,352,052	11,477,582
固定負債		
社債	3,411,000	3,311,000
長期借入金	4,967,102	7,498,523
リース債務	1,032,422	1,781,407
役員退職慰労引当金	—	40,498
退職給付に係る負債	25,620	60,682
その他	333,257	488,916
固定負債合計	9,769,401	13,181,027
負債合計	20,121,454	24,658,610

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,514,185	4,514,185
資本剰余金	3,131,767	3,130,999
利益剰余金	1,995,165	1,846,019
自己株式	△752,710	△752,710
株主資本合計	8,888,407	8,738,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,624	△18,537
為替換算調整勘定	5,697	6,626
その他の包括利益累計額合計	△12,927	△11,910
新株予約権	1,608	1,608
非支配株主持分	1,798,019	1,990,683
純資産合計	10,675,107	10,718,874
負債純資産合計	30,796,561	35,377,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年5月1日 至2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)
売上高	19,407,419	21,497,761
売上原価	14,569,013	15,684,652
売上総利益	4,838,405	5,813,109
販売費及び一般管理費	4,415,638	4,799,963
営業利益	422,767	1,013,145
営業外収益		
受取利息	968	588
受取配当金	6	6
投資有価証券評価益	—	4,060
助成金収入	4,195	2,580
違約金収入	1,793	2,697
その他	23,593	4,840
営業外収益合計	30,557	14,773
営業外費用		
支払利息	35,782	57,774
持分法による投資損失	408,263	197,859
支払手数料	9,049	16,853
その他	3,983	20,740
営業外費用合計	457,077	293,227
経常利益又は経常損失(△)	△3,752	734,691
特別利益		
負ののれん発生益	573	—
投資有価証券売却益	—	308
特別利益合計	573	308
特別損失		
減損損失	128,600	2,950
固定資産除売却損	22,320	3,085
投資有価証券評価損	2,092	—
通信設備除却費用負担金	19,844	—
特別損失合計	172,858	6,035
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△176,038	728,963
法人税、住民税及び事業税	422,395	437,371
法人税等調整額	109,798	109,334
法人税等合計	532,193	546,706
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△708,232	182,257
非支配株主に帰属する四半期純利益	98,418	173,033
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△806,650	9,224

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△708,232	182,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△115	80
為替換算調整勘定	△1,681	△5,343
その他の包括利益合計	△1,797	△5,263
四半期包括利益	△710,029	176,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△809,650	10,241
非支配株主に係る四半期包括利益	99,621	166,752

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△176,038	728,963
減価償却費	480,329	632,519
のれん償却額	446,608	281,591
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,701	△26,680
受取利息及び受取配当金	△975	△594
支払利息	35,782	57,774
為替差損益(△は益)	△3,038	424
持分法による投資損益(△は益)	408,263	197,859
減損損失	128,600	2,950
売上債権の増減額(△は増加)	△826,388	△423,529
たな卸資産の増減額(△は増加)	△325,222	△46,040
その他の流動資産の増減額(△は増加)	246,065	346,828
仕入債務の増減額(△は減少)	10,939	217,694
未払金の増減額(△は減少)	△762,757	△486,009
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△100,456	△373,761
その他	△11,498	42,087
小計	△463,486	1,152,078
利息及び配当金の受取額	1,173	2,922
利息の支払額	△17,311	△55,659
法人税等の支払額	△620,054	△783,105
法人税等の還付額	285,212	296,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	△814,465	612,324
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△113,961	△111,542
無形固定資産の取得による支出	△586,099	△495,108
投資有価証券の取得による支出	△139,109	△141,881
関係会社株式の取得による支出	—	△561,588
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,455	△1,253,735
事業譲受による支出	—	△363,000
貸付けによる支出	△231,500	△5,000
貸付金の回収による収入	6,039	336,540
その他	6,035	39,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,066,049	△2,555,621
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,133,686	△14,676
長期借入れによる収入	1,180,000	3,100,000
長期借入金の返済による支出	△542,389	△889,578
社債の償還による支出	—	△100,000
配当金の支払額	△156,442	△155,583
リース債務の返済による支出	△185,507	△298,766
セール・アンド・リースバックによる収入	—	652,602
その他	△27,726	9,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,401,621	2,303,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,000	△432
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△477,893	359,564
現金及び現金同等物の期首残高	10,249,153	13,656,143
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△12,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,771,260	14,002,728

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、株式会社アルクの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年5月1日 至 2017年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	ブロードバンド事業	モバイル事業	アドテクノロジー事業	クラウド事業	ヘルステック事業
売上高					
外部顧客への売上高	5,560,288	4,414,546	7,961,349	838,449	529,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	89,234	5,498	14,918	66,018	—
計	5,649,523	4,420,045	7,976,267	904,468	529,691
セグメント利益又は損失（△）	916,938	△312,489	735,136	6,180	△490,518

（単位：千円）

	その他 （注）1	合計	調整額 （注）2	四半期連結損益 計算書計上額 （注）3
売上高				
外部顧客への売上高	103,093	19,407,419	—	19,407,419
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,916	205,587	△205,587	—
計	133,010	19,613,006	△205,587	19,407,419
セグメント利益又は損失（△）	5,137	860,384	△437,616	422,767

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△437,616千円には、のれん償却額△443,432千円及びその他の連結調整額5,816千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年5月1日至2018年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド事業	モバイル事業	アドテクノロジー事業	クラウド事業	ヘルステック事業
売上高					
外部顧客への売上高	7,088,534	4,104,694	7,970,352	773,009	1,401,317
セグメント間の内部売上高又は振替高	97,041	5,002	142,004	64,117	153
計	7,185,576	4,109,697	8,112,356	837,126	1,401,471
セグメント利益又は損失(△)	650,353	76,071	575,295	△29,001	△70,445

(単位:千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	159,854	21,497,761	—	21,497,761
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,667	327,987	△327,987	—
計	179,521	21,825,749	△327,987	21,497,761
セグメント利益又は損失(△)	37,949	1,240,223	△227,077	1,013,145

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり不動産賃貸等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△227,077千円には、のれん償却額△243,503千円及びその他の連結調整額16,426千円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

株式会社アルクの株式を取得し連結の範囲に含めたため、報告セグメントとして「エドテック事業」を追加しております。なお、同報告セグメントの業績が四半期連結損益計算書に含まれていないため、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報への記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

株式会社アルクを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、新たに追加した「エドテック事業」において3,180,440千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社アルクを連結の範囲に含めたことにより、「エドテック事業」におけるのれんが384,530千円、報告セグメントに配分していないのれんが352,984千円増加しております。

ティアックオンキョーソリューションズ株式会社から介護記録システム事業を譲り受けたことにより、「ヘルステック事業」におけるのれんが363,000千円増加しております。